

家園

字体作者：周 慧琚

第12号



NPO法人 中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 4-23-11
川口工商ビル1階
TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358
<http://www.ab.auone-net.jp/~jc-yuko>



10 月 13 日 「かっぱ橋道具まつり」にて

目 次

★ 本会活動写真.....	2
★ 「かっぱ橋道具まつり」に出店.....	3
★ 厚生労働省地下食堂にて水餃子販売.....	4
★ 说上几句话	5
★ 硬筆書法.....	5
★ 「満蒙開拓団記念館」への旅	6
★ “実りの秋” 歌と踊りの宴.....	7
★ 本会活動記録・お知らせ・編集後記.....	8

※ 本 会 活 動 写 真 ※



厚生労働省地下食堂にて、餃子フェア・試食会



中国帰国者まつり 2014



中国文化センターコンサートに出演

热闹的祭り、饺子贩卖忙

宇都宮孝良

10 月 12 日（日）、13 日（月）两天是台东区浅草著名的合羽桥道具街，举办的まつり盛会。我们通过日本友人，黑岩诚次先生的介绍，到まつり里的金龙公园出店卖饺子。

10 月 12 日这一天，在本会“饺子工房”高桥秀哉组织和带领下，由高桥由佳、高桥カツ、宫崎庆文、大田昇、白山明德、真鍋たか子、平沢千恵子、村松緑、二田口国博、佐藤麗子等人参加卖饺子活动。

一清早大家就来到《孤儿之家》事务所集合。浅草的这个金龙公园距我们事务所并不太远，因此有一部分人步行，还有几位乘车去了现场。另外由二田口国博和高桥秀哉开车把早已准备好的饺子和煮饺子的各种食具以及桌椅等运到现场。

金龙公园不大，共有 8 家出店。有卖烤肉的，有卖日本酒，啤酒的还有卖炒面的，而我们是专门卖水饺子。

上午 10 点正式开始，当时来我店买饺子的和就地吃饺子的客人川流不息，还挺够忙的。真鍋たか子、平沢千恵子、高桥カツ、村松緑和佐藤麗子等在前台有条不紊的向客人卖饺子，而高桥由佳和大田昇等也不停的在煮饺子。这时来买饺子的客人越来越多了起来。但瓦斯灶台实在太小，饺子煮得太慢，供不上卖，大家真是都非常着急，怎么办好？当天池田理事长代病也来到现场看望大家，并深情的对大家说：大家辛苦了，注意防寒不要感冒了，有困难就想办法克服。

就在这时，高桥秀哉急中生智，自己拿钱和白山明德买回两个大的瓦斯灶台，一下子就解决了煮饺子慢的问题。

大家继续忙碌起来，正当我们卖饺子忙得不可开交的时候，原 NPO 事务员来田美智也主动来到现场参加我们卖饺子的活动。她一边动手干活，一边用日语向客人呼唤，“又便宜又好吃的饺子，

大家快来买呀！”这时有很多客人听到吆喝声，买的人更多了起来。大家一致忙到 16 点结束。连中午饭都顾不上吃，当天卖饺子的收入还是可佳的。

10 月 13 日（月）是我们在金龙公园卖饺子的第二天，当天有二位有事没能参加。另外又新来了河村忠志、柳勇夫、松本莉惠和細川香 4 人参加了卖饺子的活动。

这一天，现场的受理人把原来卖饺子的位置给换了。换的这个地方比原来小多了，煮饺子的工作只能靠高桥由佳一个人来做。前天卖饺子的几位都转不过来，上午天气较冷，又不时的下着蒙蒙小雨。原以为来买饺子的客人不会太多。

可这时候，在我们旁边一个店是烤秋刀鱼的试食会，场面非常热闹，客人络绎不绝。这也给我们带来了卖饺子的商机，有多客人刚吃完鱼又到我们这边来买饺子吃，还有许多客人在吃水饺的同时还想买煎饺子问我们有没有，紧急中高桥由佳就把煮好的水饺又用锅油煎一下。客人吃过觉得很好吃。这样卖的水饺、煎饺都有了，客人逐渐多了起来。大家又忙碌起来。

这一天预报 19 号台风就要来临，我们只好卖到 15 点就结束了。大家通过参加两天卖饺子的活动，都深有感触的说，“虽然觉得辛苦点累些，但这是为 NPO 做点贡献是应当的。今后如果还有这样的活动我们将继续参加。”



副大臣も試食 厚労省が餃子フェア

中国帰国者・日中友好の会が製品提供

厚生労働省社会・援護局援護企画課中国残留邦人等支援室は10月1日、2日の両日、中央合同庁舎5号館の1階ロビーで「中国残留邦人等の支援施策」のパネル展示、地下1階大食堂で「餃子フェア」を開催。NPO 法人中国帰国者・日中友好の会」製造の水餃子をランチメニューとして提供しました。

これは1日に配偶者支援金制度の創設を盛り込んだ改正支援法が施行されたことを受け、中国残留邦人等支援への理解を深めるため、支援策の一環として催されたもの。

永田桂子厚生労働副大臣や橋本岳大臣政務官、矢内繁大臣官房審議官らが食堂にかけつけ、水餃子ランチを試食。「皮がもっちりしていておいしい」と好評でした。

「水餃子ランチ」を食べていた20代女性たちからも「手作りなんですか？」と驚きながらも「おいしいです」と感想が寄せられました。

1日は80食用意していた「水餃子ランチ」が開始早々10分で完売。

米倉洋子弁護士、NPO 法人「中国帰国者・日中友好の会」の宇都宮孝良さん、河村忠志さんも大食堂で餃子フェアを見守りました。

その後、井上秀美中国残留邦人等支援室室長ら4人と「水餃子ランチ」を食べながら談笑。厚労省側からの「好吃」（おいしい）との声に、宇都宮さんと河村さんから笑顔がこぼれました。

宇都宮さんは「配偶者支援金制度が始まった今日に合わせて餃子フェアが開催されました。これは厚労省が残留孤児問題を重視してくれたからこそ実現できたことです」と述べ、今日の行事が「戦争の悲劇や残留邦人の抱える問題を考えていただく良いきっかけになって欲しい。今まで支援して下さった弁護士や支援団体のみなさまに感謝します」と語りました。

米倉弁護士は「今回の餃子フェアは、厚労省の企
チラシ：厚生労働省提供
応援
したいという気持ちが伝わってきて感無量でした。今日は配偶者支援金施行日であると同時に、旧支援法施行20周年の日ですので、これまで支援して下さった多くの方々への感謝の思いをひときわ強く感じます。これからも、老人ホームや2世の問題など、残された課題に取り組んでいきたいと思いますので、宜しくお願いします」と語りました。

配偶者支援金制度
スタート!

中国残留邦人等支援
餃子フェア

日本国内製造
産地材料使用

「もっちり肉野菜水餃子」を
使用したメニューを大食堂で
ご賞味いただけます。

5号館ロビー(東玄關)
において、中国残留邦人等の
支援施策のパネルを
展示していますので、
是非お立ち寄りください。

ランチ
平成26年 **10月** **1日(水)**
2日(木)

場所 中央合同庁舎5号館
地下1階 大食堂

中国残留邦人の皆さんは、永住帰国後、困難な状況の中、自立した生活を営むため、がんばっています。
10月1日、新たな支援として「配偶者支援金制度」がスタートすることに併せ、地下大食堂をご利用の皆さんへ、NPO 中国帰国者・日中友好の会」の皆さんが手作り販売をしている水餃子を提供いたします。中国残留邦人等支援への理解を深めていただきたいと考え、中国残留邦人等支援「餃子フェア」を開催しました。じっくり味わっていただき、心から感謝の気持ちを込めて包みました。ぜひ「美味」ください!

「配偶者支援金」はこんな制度です。
「配偶者支援金」は、中国残留邦人等が亡くなった場合に、中国残留邦人等と長年にわたり労苦を共にされてきた配偶者の方の事情に配慮し、永住帰国する前からの配偶者の方へ、本年10月から従来の支援給付に加えて支給するものです。

厚生労働省社会・援護局援護企画課 中国残留邦人等支援室

说上几句话

宇都宮 孝良

今天我们又一次在这里欢聚一堂，共渡 2014 年まつり大会。今年的归国者まつり大会，是在配偶者支援金政策十月一日开始实施中举办的。因此有着不同的特殊意义！

对于配偶者的生活支援问题，我们用了两年的时间获得国会立法解决。让归国者的配偶者有了一定的安心感和生活保障。这一问题解决，除了我们广大的归国者不懈努力的配合以外，更重要的是律师团为我们做了大量卓有成效的工作而取得的。

可以说：没有律师们的支援，我们可能一事无成，也可以说没有律师们的支援，就没有我们老后的生活保障，也不会在这里欢聚一堂。多年来我们的律师先生为归国者做了那么多的付出和贡献。在缴纳律师诉讼费一事上，大部分同胞都已经自觉主动、积极的交付，但有些人就没有交，而且至今都不想交。我们不知道为什么同是归国者，为什么同是裁判的原告，为什么做是做人素质反差这么大？望现在还没有交付律师诉讼费的各位，你们要很好的反思呀！

“知恩图报”是值得倡导的传统美德。归国者们长年领略，接受日中两国的优秀文化影响。我们重新回顾在国赔诉讼裁判的风风雨雨中，一位位律师的忘我认真的帮助情景。如果这些都忘掉，该让人脸红了！

来年我们律师团和原告团工作的中心任务：仍然是争取解决“要望書”中提出的各项要求，另外就是要解决：归国的残留孤儿不到 60 岁就去世了，有关他们配偶者的生活支援金问题。

来年，世界反法西斯斗争胜利 70 周年之际，东京将有律师，历史家，残留孤儿原告团和社会知名人士 100 多人组成，举行一次战后 70 年日本未来ひらく会，促进和改善日中两国因历史及岛屿等问题的影响我们将继续为日中两国人民的友好关系发挥桥梁和纽带作用。

同胞们，中国归国者まつり到现在已举办了十次。今后，我们继续举办好归国者まつり大会，让我们谱写更加精彩生动的新篇章。最后衷心祝贺まつり大会圆满成功。谢谢。

書 法

吹拉彈唱
歌聲嘹亮
舞蹈多彩
戲曲京腔
孝扇飛舞
餃子漂香
嘉肴家園
滿目春光

白話八句
吉村宏治

硬筆書法 NPO 會員 吉村 宏治

『平和の尊さ伝える 満蒙開拓平和記念館』への旅

(阿智村)

文：春 暁

秋が深まり紅葉に染まった長野県阿智村の満蒙開拓記念館は、美しく厳かでした。平成26年10月25日～26日、「戦争の歴史を風化させたくない」との願いから中国残留邦人二、三世の会の11名は、大久保明男さん、佐藤俊一さんに連れられ、満蒙開拓平和記念館を訪れた。松本莉恵さんと細川香さんは宿泊先を探し、斎藤幸男さ



んと大久保さんは、長時間、車を運転しました。本当にお疲れ様でした。お陰様で良い旅ができました。

「満蒙開拓平和記念館」の来館者が、平成25年4月に開館から5万人を突破、平和への思いを新たにしました。館内は、戦前から戦後までの満蒙開拓の歴史が年表や体験者たちの証言、手記、手紙、写真などで紹介され、開拓団の暮らしを伝える貴重な動画もありました。ゼミナールームでは、15歳で阿智村開拓団に参加した方から話を聞きました。今、86歳となったこの老人は、5人兄弟や両親と一緒に満州に渡りました。終戦とともに、ソ連軍の侵攻が始まり、日本軍が敗退、互いに殺し合ったり、自害したり、大勢の女性と子供が置き去りにされるといった、恐ろしく悲惨な情景を目の当たりにしました。老人は言いました。「やって良い戦争はない。二度と戦争を起こしてはいけません。ここに座っている皆さん、どうか子供たちに戦争をやってはいけなくと伝えてください」と強い口調で語りました。最後に、開拓団の動画を観賞しました。

記念館の近くには、中国残留孤児の父としての山本慈昭さん(故人)が住職をされていた長岳寺があります。二世の皆さんは「望郷の鐘」を鳴らした後、山本慈昭さんの像の前で写真を撮りました。戦争の悲劇の申し子である中国残留孤児、そしてその身元探しは山本慈昭さんが中国に残した娘さんを探すことから始まり、以後、残留婦人や孤児達の肉親探しに生涯を捧げられました。

戦争の悲劇の中で人類は、平和がいかに尊いかを思い知りました。二度と戦争を起こさないためにも、次世代に語り継ぐ重要性を感じる有意義な旅になりました。



深秋时节、在红叶的映照下，长野县阿智村的满蒙开拓和平纪念馆显得更加宁静肃穆。

为了永远不忘战争给人类带来灾难的这段历史，平成26年10月25日、26日，中国残留邦人的二、三世，由大久保明男、佐藤俊一等11人组织了参观满蒙开拓和平纪念馆的见学旅行。本次活动由松本莉恵和细川香两位煞费苦心地联系旅馆、齐藤幸男和大久保长时间的开车驾驶，辛苦了。大家都感到满足、充实。非常感谢！

满蒙开拓和平纪念馆，自平成25年4月开馆以来，来访者突破5万人。馆内展示了战前、战后时满蒙开拓历史年表、被害者的证言、笔记、和当时的信件、照片等。还有反映当时开拓团生活背景的，贵重的动画映像。

在纪念馆的会议室里，一位86岁老人（当时15岁，是阿智村开拓团成员），诉说当时他和兄弟5人随同父母一起参加开拓团去满洲的经历。当苏联宣战进



入中国东北，日本关东军败退，逞现出互相残杀、自尽，以及大批被抛弃的妇女、儿童的可怕而悲痛的情景。然后，他语重心长地说：“没有好的战争，战争决不允许再次发生。在座的各位，要承担起这一重任，教诲下一代反对战争。”老人发自肺腑的心声，打动了所有人的心。最后，我们观赏了开拓团动画影片。

在满蒙开拓和平纪念馆附近，有中国残留孤儿之父-山本慈昭先生(故人)生前作长老的寺院-长岳寺。朋友们一起敲响了望乡的钟声，然后，在山本先生塑像前照了合影。是战争的悲剧产生了中国残留孤儿，

而残留孤儿寻找亲人就是从山本先生寻找遗留在中国的女儿开始的。从那以后，他把终生精力献给了残留妇人、残留孤儿寻找亲人的事业上。

从战争给人类带来的悲惨遭遇中，人们体会到和平是多么神圣、高贵，令人向往啊！为了不再发生战争，我们要承担起这一重任，并传授给下一代。

难以忘怀的文化交流演出

(歌と舞踊の宴)

惟 遠

由日中映画协会主催、日中文化交流会、NPO 法人 中国归国者 日中友好之会协力举办的文艺演出，于2014年11月18日晚在文京区文化中心二楼剧场如期举行。

本会应邀参加了演出，表演大合唱、男声小合唱、舞蹈“中国妈妈”三个节目。演出是以我们的大合唱“茉莉花”揭开了序幕。演员们穿着耀眼的服装，个个精神饱满。

他们以甜润的歌声，幸福的笑容，令观众为之喝彩。男声小合唱“灯光”、“少林、少林”，歌声时而深沉，时而高扬，不时赢得了全场的阵阵掌声。激动的观众随着演员情不自禁地打起了手拍子，欢呼声不绝于耳。

中间休息后，在震荡激越的音乐声中，“中国妈妈”登场演出。十几位“妈妈”们个个表情振奋，随着剧情的变化，剧中日本女孩的不幸遭遇，一会儿目光怒视，一会儿泪满脸颊，动作逼真，优美。主演女孩儿的历杰和主演妈妈的张竞配合默契，群体演员们都以饱满的情绪，认真的态度以及熟练的演技，再次吸引了观众，打动了在场的每个人。

我会参加表演的节目受到了好评。演员们不仅再次得到了锻炼，为日中友好交流事业又尽了一份力量。为此，大家内心都感到非常荣幸和自豪。

2014年11月18日、夜、文京区文化センター2階の劇場で、日中映画会主催、NPO 法人中国帰国者・日中友好の会協賛で文化交流演出会を開催されました。

当会の合唱団から歌の披露と、「中国のお母さん」の舞踏を演出されました。「茉莉花」の歌は演出の幕を開けました。出場の皆さんは華やかな衣装、豊かな表情と美しい歌声はご来場の皆様を魅了しました。男子合唱曲「灯光」、「少林、少林」の素晴らしい演出は大きな拍手と喝采を受けました。最後に、お客さんの手拍子と共に歌い続けた。

休憩時間を挟んで、後半に「中国お母さん」は演出を披露されました。10 数人のお母さんは登場し、劇は終戦時、日本人の少女の不幸の遭遇に、中国のお母さんに助けられ、育てられ、また、日本のお母さんのもとに返すとの展開でした。国境を越えた偉大な母の愛は会場の人々を感動させました。特に、女の子を演じる歴潔さんはお母さんを演じる張競さんとの演技默契、感動な場面は来場の方々の心を打たされて、涙を流しました。

今回、演出会に参加したお陰で、私と仲間の皆さんは再び良い体験を得ることができました。と同時に、日中友好交流事業に尽力できたことに大変光栄に思っております。(翻訳:春暁)



「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2014 年 9 月～12 月)

09/07	在板桥区アクトホール参加合唱交流会。9 月 21 日机关杂志《东京民報》上介绍当天的演出。	板桥区アクトホールにて合唱交流会に参加しました。交流会の様子は、9 月 21 日機関誌「東京民報」に掲載されました。
09/20	在浅草民主商公会演出小合唱、独唱、太极拳、乐器演奏等节目，与台东区民交流，受到欢迎。	民主商工会にて小合唱、太極拳、樂器演奏など地元の人と交流を持ちました。地元の方に大変喜んでいただきました。
10/11-12	浅草合羽橋道具まつり本会販売スープ餃子、焼餃子。客人川流不息，销售很好。	浅草かっぱ橋道具まつりに参加、餃子を販売。好評で、全て売り切れました。
11/18	本会合唱団和舞蹈“中国妈妈”参加中国文化中心音乐会。	本会合唱団と舞蹈「中国妈妈」が中国文化センターコンサートに出演しました。
11/22	江東区区民中心举行归国者まつり。	江東区区民センターにて中国帰国者まつりに参加しました。
12/22	本会合唱団在浅草聖ヨハネ教会与紫金草合唱団一起开展合唱演出活动。	浅草聖ヨハネ教会合唱活動に紫金草合唱団と一緒に参加しました。

祝！新年快乐！！

※お知らせ※

★合唱活動★

日時:12 月 22 日(月)
場所:浅草聖ヨハネ教会

★忘年会★

12 月 26 日(金)
場所:東京大排档
時間:12 時～16 時
東京都江東区亀戸 6-23-2
サウナ国際ビル
電話:050-5877-2603

★冬休み★

12 月 27 日(土)～1 月 4 日(日)

★新年会★

日時:2 月 22 日(日)
場所:北区飛鳥ホール

《家園》編集委員 (第 12 号)

白 山 明 徳	河 村 忠 志
二 田 口 国 博	眞 鍋 た か 子
春	暁 惟 遠
レイアウト 王 莉	

編 集 後 記

街頭，寒椿，大概领悟冬天的到来，一朵朵綻放得通红。我们迎接新年的来临，同样也感悟时光很短，需要加倍珍惜和努力。

借一片冬雨，滋润你灿烂笑脸；捕一缕凉风，拂去你的忧郁心尘；收一束阳光，温暖你疲惫的思绪。新年拥有新的开始，祝福大家快乐、健康、温馨！